

マサさんの楽しいピアノカバンドコンサート

鍵盤ハーモニカでかっこよく演奏

3月18日、文化会館小ホールで「マサさんの楽しいピアノカバンドコンサート～こんなにすごいぞ！ 鍵盤ハーモニカ～」が行われ、プロの鍵盤ハーモニカ奏者の松田昌さんとドラム・パーカッションの黒田和良さん、ピアニストの松島里佳さんが迫力ある演奏を披露しました。会場全体で一緒に演奏する場面では、鍵盤ハーモニカやリコーダー、カスタネットなどを持参した来場者がジャズの演奏に参加。リズムに合わせて上手に演奏できると、客席から大きな拍手と誇らしげな笑顔があふれました。



愛知県消防操法大会出場団結団式

吉良消防団が優勝を狙う

4月8日、愛知県消防操法大会出場団結団式が一色地域交流センターで開催されました。今年度は7月28日に稲沢市の祖父江の森多目的運動場で大会が行われ、西尾市から吉良消防団が出場します。選手は指揮者が尾崎将也さん、1番員が中嶋涼介さん、2番員が今井光岳さん、3番員が小山峻矢さん、4番員が伴野守さん、補助員が宮地修平さんの6人。選手を代表して、尾崎さんが「目標の達成に向けて努力を重ね、充実した大会にしたい」と力強く語り、会場から大きな声援と激励の拍手が送られました。



2018西尾六万石桜まつり

桜は散っても見どころ満載



西尾六万石桜まつりが4月1日・7日・8日に開催されました。みどり川会場では、金魚のつかみどりや高校吹奏楽部・和太鼓部の演奏、

抹茶の無料接待などが催され、多くの人でにぎわいました。今年は桜の開花が早く、咲き誇る桜の下での開催とはなりませんでしたが、参加者は散りゆく桜を惜しみながらも楽しく過ごしていました。

西尾市少年少女発明クラブ公開教室

手作りのハングライダーが完成

西尾市少年少女発明クラブ公開教室「空を飛ばすものを作ろう」が4月8日に、中央ふれあいセンターで行われました。小学生とその保護者が角材やビニールを使ってハングライダー作りに挑戦。完成すると飛ばして遊び、ハングライダーが飛ばす仕組みを学んでいました。



一色地域文化広場 オープニングセレモニー

つどう・憩う・学ぶの新しい拠点



4月1日、「つどう・憩う・学ぶ」をコンセプトに改修を進めていた、一色町公民館、一色地域交流センター、子育て・多世代交流プラザ、一色学びの館が「一色地域文化広場」としてリニューアルオープンしました。オープニングセレモニーでは、西尾ウイングオーケストラによる演奏とともにテープカットが行われました。また、コンサートや料理教室なども開催され、リニューアルを待ちわびた多くの人でにぎわいました。



丸型ポストフェスティバル2018inふみの街西尾

抹茶色のポスト設置10年を祝う

「西尾の抹茶」をイメージした緑色の丸型ポスト設置10周年の記念イベントが3月17日・18日、幸町の井桁屋公園などで行われました。このポストは、街おこしのきっかけにと洋画家の斎藤吾朗さん(伊藤四丁目)が提案し、稲垣信夫さん(上町)はじめ有志の協力により、平成20年2月に浜松市から移設されたものです。トークショーや「丸ポストの唄」披露の後、記念日付印が特別に押印された手紙を小学生がポストに投函。全国から集まった参加者は、丸型ポストを通じてつながる縁に感謝しながら、大いに交流を深めていました。



「頑張るものづくり企業in西尾」認定式

知名度向上、販路開拓へ



3月19日、市役所で「頑張るものづくり企業in西尾」認定式が行われました。製造品出荷額等が全国1位の愛知県において、西尾市は輸送用機械で県内4位のシェアを誇ります。そこで市は29年度に、企業が持つ技術や製品、セールスポイントなどを紹介する冊子『頑張るものづくり企業in西尾』を発行。東京などで開催される展示会や、就職説明会などで配布し、広域的な情報発信に活用しています。ものづくりのまち西尾の知名度向上と、市内企業の販路開拓につなげるため、冊子に掲載している62の企業を「頑張るものづくり企業」に認定しました。

孫と一緒に戦国の城跡巡り

戦国時代にタイムトラベル

3月25日、生涯学習講座「孫と一緒に戦国の城跡巡り」が開催されました。絶好の散歩日和の中、参加者一行はバスに揺られて東条城址へ。戦国史跡ナビゲーターの七種英康さんから当時のエピソードを交えた解説を聞き、メモを取ったり、写真を撮ったりしながら見学。次に訪れた寺部城址では、見晴らしの良い本丸へ登って景色を眺めた後、海まで散策。自然や地形を生かした城の構造などを学び、戦国の世に思いををせていました。



にしがまシーサイドウォーク

春の海風を感じて魅力を再発見



3月25日に、にしがまシーサイドウォークが行われました。名鉄西尾・蒲郡線(にしがま線)の利用を促進しようといわれたこのイベント。約12.5キロメートルのコースは、海辺に点在するカフェを巡るなど、沿線の新たな魅力を感じられるものです。参加者は名鉄西浦駅から西浦半島を周るコースを歩き、同駅から電車で東幡豆駅に移動。寺部海水浴場などを経て、ゴールの西幡豆駅までを思い思いのペースで歩きました。穏やかな春の陽気の中、潮騒を感じながら心地よい汗を流していました。